

JTB、2026 年シルバーウィーク人気方面ランキングを発表

海外：個人旅行(添乗員なし)は、定番のハワイに次いで、費用を抑えられる近距離アジアが人気
添乗員ありのツアーでは歴史や芸術、美食を楽しむヨーロッパが上位を占める
国内：個人旅行(添乗員なし)は、テーマパーク人氣が旅行需要を牽引
添乗員ありのツアーは紅葉や絶景を求め周遊旅行が支持を集める

株式会社 JTB は、2026 年のシルバーウィークとその前後期間(2026 年 9 月 18 日～9 月 27 日)の予約状況に基づく、人気方面ランキングおよび出発日の動向をまとめました。今年は 9 月 19 日(土)から 23 日(水・祝)までが 5 連休となる 11 年ぶりの大型連休であることから、海外・国内ともに、旅行需要の本格的な回復が見られます。

1. 海外旅行

(1) 個人旅行(添乗員なし)

海外旅行(添乗員なし)人気ランキング・人気出発日

順位	人気方面	順位	人気出発日	
1位	ハワイ	1位	9月19日	土
2位	台湾	2位	9月20日	日
3位	韓国	3位	9月18日	金
4位	グアム			
5位	シンガポール			
6位	オーストラリア			
7位	アメリカ			
8位	香港・マカオ			
9位	インドネシア			
10位	タイ			

今年のシルバーウィークの海外旅行(添乗員なし)は、1 位のハワイに次いで、2 位が台湾、3 位韓国、5 位シンガポールなど、上位 10 方面の大部分を近距離方面が占める結果となりました。航空券とホテルを自由に組み合わせるスタイルは、費用を抑えつつ気軽に楽しみたい層から強く支持されています。一方で、7 位にはアメリカ西海岸がランクインし、休暇を組み合わせる長期滞在を楽しむ層の存在も明らかになりました。

近距離アジア人気の中、「体験価値」を重視する傾向が鮮明に

今回の傾向として特筆すべきは、単なる渡航先選びにとどまらず、「その場所でしかできない体験」を通じて、旅の満足度を高めようとする旅行者の意欲が見られる点です。特にハワイ、グアム、シンガポール、オーストラリアといった人気方面では、独自の体験価値をパッケージした商品が選ばれています。

例えば、ハワイではトロリーに揺られながら眺めるサンセット、グアムでは恋人岬で沈みゆく夕陽を堪能するプラン、シンガポールではオープントップバスで夜景を巡るツアーなど、その土地の個性を深く味わえるコンテンツが人気です。また、これらに加え、食事や体験などさまざまな特典付きの商品が支持されています。参加形態をみると、全体的にファミリーのシェアが高い一方、ハワイやインドネシアはハネムーン、香港・マカオやタイは女性同士、アメリカ西海岸は夫婦での参加が顕著です。

出発日は連休初日の 9 月 19 日(土)に集中しましたが、9 月 18 日(金)夜から出発し、限られた連休を現地で最大限に活用しようとする動きも見られました。物価高や円安といった環境下においても、旅のスタイルを工夫しながら目的地ならではの体験を求める旅行者の旺盛な好奇心と前向きな姿勢がうかがえます。

(2) 添乗員あり

海外旅行(添乗員あり)人気ランキング・人気出発日

順位	人気方面	順位	人気出発日	
1位	イタリア	1位	9月18日	金
2位	スペイン・ポルトガル	2位	9月20日	日
3位	フランス	3位	9月19日	土
4位	アメリカ			
5位	台湾			

“その国ならではの文化体験”を求めて 憧れのヨーロッパへ 歴史や芸術を効率よく巡る旅が人気

海外旅行(添乗員あり)では、1 位のイタリアをはじめ、スペイン・ポルトガル、フランスなどヨーロッパ方面が上位を独占しました。歴史や芸術、美食といったテーマ性の高い場所を、ツアーで効率よく巡りたいという需要が顕著です。イタリアでの遺跡巡りや芸術鑑賞、パリでの街歩きなど、ヨーロッパならではの歴史と文化に深く触れる旅が人気を集めています。特に、サグラダファミリアの「イエス・キリストの塔の完成」で注目が集まるスペインや、異国情緒あふれるポルトガルでのユニークな文化体験が人気です。

アメリカ方面では、グランドキャニオンに代表される国立公園を巡り、壮大な大自然を満喫する旅や、ニューヨークやロサンゼルスといった大都市でショッピングやエンタテインメントを堪能する旅が人気です。特に、本場の熱気を肌で感じられる MLB™観戦ツアーは、野球ファンにとって見逃せない魅力的な選択肢となっています。

5 位にランクインした台湾は、5 連休という日程を生かし、人気の台北だけでなく、高雄や台南といった南部エリアまで足を延ばす周遊コースが人気を集めています。9 月の台湾は、南国らしい活気を残しながらも、朝晩は過ごしやすくなる絶好のシーズンです。

出発日は連休前日の 9 月 18 日(金)が最多となっており、長距離移動を考慮した計画的な旅程を組む傾向が読み取れます。5 連休に休暇を加えて費用と時間をかけても、憧れの地で特別な体験をしたいという旅行者の意欲が表れており、安心感と充実した観光内容を求める層からの根強い支持が、ランキング上位を支える結果となりました。

2. 国内旅行

(1) 個人旅行(添乗員なし)

国内旅行(添乗員なし)人気ランキング・人気出発日

順位	人気方面	順位	人気出発日	
1位	関東	1位	9月19日	土
2位	関西	2位	9月20日	日
3位	中部	3位	9月21日	月(祝)
4位	北海道			
5位	沖縄			

テーマパークと絶景が人気 秋の自然やイベントを楽しむ遠方への旅も

人気方面の 1 位は関東、2 位は関西、3 位は中部と主要都市圏への旅行が上位を占めました。関東方面、関西方面では、テーマパークが旅行の大きな目的となっています。中部方面では、テーマパークを目的とした愛知県を中心とする東海エリアや、立山黒部アルペンルートのある北陸が人気を支えています。次いで、北海道や沖縄も依然として根強い人気を誇っており、秋の大型連休を活用した遠方への旅行需要が伸びています。

旅の過ごし方として、9 月下旬から紅葉の見頃を迎える上高地では、ネイチャーガイドとともに自然を満喫できる体験プランが人気を集めています。また、5 位にランクインした沖縄では、開業 2 年目を迎えたジャングリア沖縄やビー

チ・ホテルのプール、美ら海水族館などの人気スポットを組み合わせ、沖縄ならではの魅力を存分に楽しめる商品が好評です。

出発日については、連休初日の 19 日(土)が最も多く、次いで連休 2 日目の 20 日(日)となりました。連休前半に出発が集中しています。

(2) 添乗員あり

国内旅行(添乗員あり)人気ランキング・人気出発日

順位	人気方面	順位	人気出発日	
1位	中部	1位	9月27日	日
2位	北海道	2位	9月24日	木
3位	東北	3位	9月21日	月(祝)

絶景への周遊需要 秋の自然を楽しむ旅行が根強い人気

国内旅行(添乗員あり)では、1 位が中部、2 位に北海道、そして 3 位が東北となりました。中部方面では、立山黒部アルペンルートや上高地といった山岳景勝地への需要が見られます。9 月は紅葉シーズンを迎え、雄大な自然景観を楽しむ旅行スタイルが人気です。また、黒部峡谷のトロック電車など、自然を体感できるアクティビティも旅行の目的の一つとなっています。

同様に、北海道方面でも秋の自然を目的とした旅行が根強い人気を誇ります。大雪山系は日本で最も早く紅葉が始まる名所として知られ、一足早い秋の訪れを楽しめます。ロープウェイからの絶景観賞に加え、旬の味覚を味わうグルメも人気です。これらの山岳エリアや広大な土地を巡る旅行では、個人での移動計画が複雑になりがちであるため、添乗員が同行し、効率的な移動手段と観光プランが組まれたツアーが支持されています。

【シルバーウィークの旅行動向】

- ・データ抽出日 : 2026 年 8 月 18 日(火)
 - ・データ抽出対象 : 対象出発日の JTB 商品をお申し込みの方(海外旅行: 人員、国内旅行: 人員)
 - ・対象出発日 : 2026 年 9 月 18 日(金)～9 月 27 日(日)
 - ・対象商品 : ダイナミックパッケージ JTBMystyle、ルック JTB、旅物語の国内・海外募集型企画旅行商品
- ※JTBMystyle は株式会社 JTB の登録商標です。

<9 月以降 JTB おすすめツアー>

- ・JTB 公式ホームページ: <https://www.jtb.co.jp/>
 - ・「かけこめ! 2026 秋冬旅」キャンペーンサイト: <https://www.jtb.co.jp/myjtb/campaign/akifuyutabi/>
 - ・旅の過ごし方: <https://tabisugo.jtb.co.jp/>
 - ・JTB「旅物語」公式ホームページ: <https://www.jtb.co.jp/med/>
 - ・ルック JTB おすすめツアー
- 憧れのガラスイグルーに泊まる オーロラとサンタクロースの故郷 フィンランド 7 日間
<https://www.jtb.co.jp/escort/rweb/kaigai/pages/CourseData.aspx?courseno=EBA9A0&brand=00LK>
- 憧れの国営ホテル パラドールに泊まる オーレエスパーニャ 8 日間
<https://www.jtb.co.jp/escort/rweb/kaigai/pages/CourseData.aspx?courseno=EBA320&brand=00LK>

■報道関係の方からのお問合せ先

JTB 広報室代表メールアドレス jtb0074_all@jtb.com